

発刊日 平成30年11月6日

奈良体育学会会報

第83号 発行 奈良体育学会

事務局：奈良教育大学 保健体育講座 (〒630-8528 奈良市高畑町)

ご挨拶：奈良体育学会大会開催にあたって

奈良体育学会 会員の皆様へ

奈良体育学会会長 高橋豪仁

秋も深まり、紅葉の美しい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、平成30年度奈良体育学会大会の案内を会員の皆様にお送りいたします。本年度の学会大会では、ランニングのトレーニングの指導や研究において素晴らしい実績をお持ちの山地啓司先生をお迎えし、「速く走るためのトレーニングをいかに行うか」というテーマでご講演頂く予定です。また、一般研究発表は7題が予定されております。どれも大変興味深い内容です。また、今大会から、若手研究者の育成を図るために、学会大会で素晴らしい発表をした学生に学生研究奨励賞を授与する予定です。

年に1度の学会大会です。この機会に、多くの方々と幅広い意見交換ができますことを期待しております。万障お繰り合わせの上、ご参会下さいますようお願い申し上げます。

平成30年度奈良体育学会大会のお知らせ

期 日：平成30年11月23日（祝）

会 場：奈良女子大学・生活環境学部 E棟1階 E108, E109教室（別紙の地図をご参照下さい）

後 援：奈良県教育委員会、奈良県

大会参加費：一般 1000円 学生・大学院生 500円

大会プログラム：

12:00～ 受付（E108, E109教室前）

12:20～12:50 平成29年度奈良体育学会総会（E108）

12:50～14:45 一般発表（E108）

15:00～16:30 公開講演（E108）

17:00～ 懇親会

<一般発表> 12:50～14:45

（発表時間12分、討論時間3分）

座長 立正伸（奈良教育大学）

1 (12:50~13:05)

若年男女のバランス能力を評価する十字移動テストの信頼性と妥当性

○今井美華¹、山本晴基¹、木野和樹¹、四宮祥太¹、松本侑那¹、塚本順子^{1・2}、中谷敏昭^{1・2} (1天理大学大学院2天理大学体育学部)

キーワード：動的バランス、信頼性、十字移動テスト

要旨：本研究では、若年男女43名(18~25歳)を対象に重心動揺計の上で身体を十字方向に移動する新しいテストを開発し、試行間信頼性と各種バランス能力や足底屈力などの外的基準との関係を検討したので報告する。

2 (13:05~13:20)

競泳選手のパフォーマンス回復に及ぼす交代浴の影響

○木野和樹¹、山本晴基¹、今井美華¹、四宮祥太¹、松本侑那¹、太田雅夫^{1・2}、西田円^{1・2}、中谷敏昭^{1・2} (1天理大学大学院2天理大学体育学部)

キーワード：パフォーマンス、交代浴、疲労感

要旨：200m自由形を専門とする若年男女競泳選手を対象に、全力泳後の交代浴が泳パフォーマンスと血圧、血中乳酸値に及ぼす影響を検討した。交代浴は200m全力泳のタイム短縮、最高血圧の低下、疲労感の低下を来したので報告する。

3 (13:20~13:35)

活動後増強に及ぼす柔らかいマットへのドロップジャンプの影響

○四宮祥太¹、山本晴基¹、木野和樹¹、今井美華¹、松本侑那¹、中谷敏昭^{1・2} (1天理大学大学院2天理大学体育学部)

キーワード：活動後増強、ドロップジャンプ、パワー

要旨：本研究では、中・高強度の運動後に生じる活動後増強に及ぼす柔らかいドロップジャンプの影響について検討した。硬い床面へのドロップジャンプは活動後増強を生じさせたが、柔らかいマットへのドロップジャンプは活動後増強を抑制する結果となった。

4 (13:35~13:50)

競泳選手の泳パフォーマンスを向上させる高強度インターバルトレーニングに関する研究

○山本晴基¹、木野和樹¹、四宮祥太¹、今井美華¹、松本侑那¹、中谷敏昭^{1・2} (1天理大学大学院2天理大学体育学部)

キーワード：競泳、トレーニング

要旨：自由形中距離を専門とする男子一流選手を対象に、運動時間と休息時間の比を同じに設定した3種類高強度インターバルトレーニングを行い、泳パフォーマンス、心拍数、血中乳酸値、自覚的運動強度を比較したので報告する。

座長 井上洋一(奈良女子大学)

5 (14:00~14:15)

日本女子野球のプレイスタイルに関する一考察 —2018世界女子野球ワールドカップの事例—

○石村広明(天理大学)

キーワード：女子野球、プレイスタイル、比較研究

要旨：本研究では、2018世界女子野球ワールドカップの結果及びインタビューから、日本女子野球のプレイスタイルの特徴を明らかにした。比較対象は日本を含む同大会のベスト4のチームである。そこで明らかとなったのは、多彩な戦術選択や堅実な守備、チームプレイであった。

6 (14:15~14:30)

「武道学研究」にみる武道領域の授業研究の動向

○穴井隆将(天理大学) 北野太野(天理大学)

キーワード：安全、施設・設備、学習内容・指導方法

要旨：本研究では、「武道学研究」に掲載されている体育授業に関連した論文、なかでも武道必修化につい

て議論されている研究の概観を通して、武道領域の授業の充実をめざして蓄積されてきた知見や残された課題について考察する。

7 (14:30~14:45)

諸外国(アメリカ中心)と日本におけるエクストリームスポーツの定義をめぐって

○豊島誠也 (天理大学大学院)

キーワード：エクストリームスポーツ

要旨： エクストリームスポーツとは直訳すると、「過激・極限」のスポーツという意味である。エクストリームスポーツにはさまざまな同類語が存在し、過去の研究でも使われているが明確な定義づけはされていない。

本発表では、諸外国(アメリカ中心)と日本におけるエクストリームスポーツの受容や定義について整理したものを検討する。

公開講演 (E108) 15:00~16:30

テーマ：「速く走るためのトレーニングをいかに行うか」

近年は、2007年に始まった東京マラソンが定員35000人に対して約12倍の申し込みが集まるほどのマラソンブームであり、中高年でマラソンを始める人も多い。最初は練習しただけ記録も向上し、マラソンに夢中になる「マラソン中毒」のような人を見かけるが、そのうち記録が伸びなくなった時に練習量を増やして対応しようとして故障してしまい、せっかく始めたランニングでストレスを抱え、中にはランニングを止めてしまう人もいる。

「速く走るためのトレーニングをいかに行うか」、これがわかれば、ケガを予防しランニングライフをさらに楽しむことができる。今回はマラソントレーニング分野の第一人者である山地先生をお招きし、永年の研究に基づくトレーニングの極意を語っていただきます。

演者紹介：山地啓司先生 1965年、東京教育大学体育学部体育学科卒。中・長距離ブロックに所属し、箱根駅伝や国体等に出場。東京大学大学院教育学研究科満期退学(教育学博士)、富山大学教授、新潟医療福祉大学教授、立正大学教授を歴任され、現在は立正大学法制研究所特別研究員。ランニング学会顧問。この間、拓殖大学駅伝部監督、日本陸連科学委員・普及部長など歴任される。学術的専門は、持久性の科学の分野を中心としたスポーツ生理学。

座長：笠次良爾 (奈良教育大学)

17:00~ 懇親会 会費：3,000円

懇親会場；四季彩菜 一条 東向通店

奈良市東向南町15 電話番号：0742-22-6226 (近鉄奈良駅より南方向へ徒歩約3分)

※予約の関係上、参加される方でまだ申し込みをされていない場合は11月13日までに、事務局にお知らせ下さい。

奈良体育学会事務局よりお知らせ

○研究年報原稿依頼

奈良体育学会では、会員の皆様からの「奈良体育学会研究年報」への投稿をお待ちしております。学会大会で発表していない論文も、「誌上発表論文」として掲載します。

学会大会で発表された方は、下記の「発表抄録書式」の要領で、抄録の投稿をお願いします。また、可能な限り「誌上発表論文」へも投稿をお願いします。

締め切り：平成 31 年 2 月 1 日(金)【消印有効】

提出先：奈良体育学会事務局

(〒630-8528 奈良市高畑町奈良教育大学保健体育講座 井上邦子宛

E-mail: kinoue@nara-edu.ac.jp)

※ **CD-ROM** などの媒体と（添付ファイル可）、プリントアウトした印刷物とをご提出下さい。

折り返し受領のお知らせをしますので、メール等の連絡先を必ず添えて下さい。

誌上発表論文書式：用紙 A4、40 字×40 行 一段組、図表ともで 4～6 枚、上下左右の余白を 20mm
(過去の奈良体育学会研究年報をご参照下さい。)

※ 提出いただく原稿は、オフセット印刷しますので、完成原稿をお願いします。なお、カラー印刷をご希望の方は、白黒印刷のみに加えてカラー印刷にかかった費用を実費徴収させていただきますので、事前にお問い合わせください。また、日本体育学会投稿規定に準じ、学生・大学院生の方は指導教員等の指導を受けてから投稿して下さい。

発表抄録書式(今年度の大会発表者用)：用紙 A4 で 1 枚 (図表込み)、本文は 2 段組をお願いします。文字は、タイトル 14 ポイント、氏名・所属 11 ポイント、本文は 9 ポイントで記載をお願いします。また、キーワード (9 ポイント) を所属と本文の間に 3 語で入れてください。

原稿作成見本および詳細は以下の URL にありますので、ファイルにアクセスして作成してください。

<http://mailsrv.nara-edu.ac.jp/~takahasi/syoroku.docx>

○日本体育学会から自動的に年会費が引き落とされない会員の皆様へ

平成 30 年度の年会費をお納め下さい。年会費は 1,500 円です。なお、2 年続けて年会費を納入しない正会員は退会とさせていただきます。

【年会費振込先】	郵便振替	口座番号	01000-2-28169
		加入者名	奈良体育学会

奈良女子大学構内図

自動車の方は東門から、徒歩の方は正門・南門からお入りください。



- ① 正門・守衛室 (重要文化財)
Main Gate - Guardroom (Important Cultural Property)
- ② 記念館 (重要文化財)
Memorial Hall (Important Cultural Property)
- ③ 本部管理棟
Administration Hall
- ④ 講堂
Auditorium
- ⑤ 文学系N棟・国際交流センター
N Hall (Faculty of Letters) International Exchange Center
- ⑥ 文学系S棟
S Hall (Faculty of Letters)
- ⑦ 理学系A棟
A Hall (Faculty of Science)
- ⑧ 理学系B棟
B Hall (Faculty of Science)
- ⑨ 理学系C棟
C Hall (Faculty of Science)
- ⑩ 理学部G棟
G Hall (Faculty of Science)
- ⑪ 生環系A棟
A Hall (Faculty of Human Life and Environment)
- ⑫ 生環系D棟
D Hall (Faculty of Human Life and Environment)
- ⑬ 生環系E棟
E Hall (Faculty of Human Life and Environment)
- ⑭ 大学院E棟
E Hall (Graduate School of Humanities and Sciences)
- ⑮ 大学院F棟
F Hall (Graduate School of Humanities and Sciences)
- ⑯ 総合研究棟H棟・臨床心理相談センター
H Hall (Integrated Projects Research) Center for Clinical Psychology

- ⑰ 大学ラウンジ
Lounge
- ⑱ 学術情報センター
Academic Information Center
- ⑲ 保健管理センター
Health Care Center
- ⑳ 大学会館
University Union
- ㉑ R・I 総合実験室
Radioisotope Laboratory
- ㉒ 第1体育館
First Gymnasium
- ㉓ 第2体育館
Second Gymnasium
- ㉔ 文化系サークル共用施設
Club House
- ㉕ 音楽棟
Music Hall
- ㉖ 課外活動サークル施設
Facilities for Extracurricular Activities
- ㉗ 合宿所
Training Camp House
- ㉘ 埋蔵文化財調査室
Archaeology Research
- ㉙ 寄宿寮・国際学生宿舎
Dormitory/International Student House
- ㉚ 佐保会館 (同窓会)
Alumni Hall
- ㉛ 国際交流会館
International House
- ㉜ 国際交流プラザ
International Plaza
- ㉝ コラボレーションセンター・共生科学研究センター
Collaboration Center KYOUSEI Science Center for Life and Nature

- Ⓐ 総務・企画課、財務課、施設企画課
General Affairs and Planning Division, Financial Division, Facility Planning Division
- Ⓑ 国際課
International Division
- Ⓒ 研究協力課
Research Cooperation Division
- Ⓓ 学生センター
Center for Student Services
学務課 (2階)
Educational Affairs Division
学生生活課、入試課 (1階)
Student Support Division, Entrance Examination Division
- Ⓔ 学術情報課
Library and Information Division